

Welch Allyn® OAE ヒアリングスクリーナー クイックリファレンスカード

このクイックリファレンスカードは、Welch Allyn® OAE スクリーナーを使った検査を始める手順を示します。
詳細な使用方法と情報については、Welch Allyn OAE スクリーナー取扱説明書を参照してください。

OAE ヒアリングスクリーナー

ケーブルをスクリーナーに接続

1. スクリーナーの電源を切った状態で、HDMI コネクタをスクリーナー上部にあるソケットにしっかりと差し込みます。プラグは一方方向にのみ差し込むことができます。

プローブチューブの取り付け

1. 新しいプローブチューブをプローブヘッドにしっかりととはまるまで差し込みます。
プローブチューブを正しく差し込んだ場合は、プローブヘッドにはまった時にカチッという音がします。
2. プローブチューブを抜くには、チューブをつかみ、少しねじるようにしてプローブヘッドからそっと引き抜きます。
イヤークリップを取り換えるたびにプローブチューブを交換する必要はありません。プローブチューブがクリアである限り、チューブは再利用可能です。

イヤークリップの取り付け



警告：安全性を損なうおそれがあります。イヤークリップは使い捨てのため、患者ごとに必ず取り換えてください。

1. 適切なサイズのイヤークリップを選択します。
2. イヤークリップをプローブチューブに少しねじるようにして押し込みます。
3. イヤークリップがプローブに完全にはめ込まれていることを確認します。イヤークリップとプローブチューブのカラー部との間にすき間がないようにしてください。



検査プロトコルの選択

DPOAE スクリーナーには2つのプロトコルオプションがあります。DP 4s 検査は1 Hz あたり最大4秒、DP 2s 検査は1 Hz あたり最大2秒です。TEOAE スクリーナーには2つのプロトコルオプションがあります。TE 64s 検査は最大時間64秒、TE 32s 検査は最大時間32秒です。前回使用したプロトコルがメインメニューに表示されます。

1. メインメニューで**下**コントロールパネルボタンを押します。[Protocol (プロトコル)] メニューが表示されます。
2. **左**または**右**コントロールパネルボタンを押して目的のプロトコルを選択します。
3. **上**コントロールパネルボタンを押すとメインメニューに戻り、検査を開始します。

スクリーニング検査の実施

1. イヤークリップを付けたプローブを外耳道に挿入します。
2. **下**コントロールパネルボタンを押してスクリーナーの電源を入れます。メインメニューが表示されます。
3. **左**または**右**コントロールパネルボタンを押して検査する耳を選択します。スクリーナーがプローブと較正の自動試験を実行します。

スクリーニングが自動的に開始します。検査が完了すると、スクリーナーはメインメニューに戻り、[Pass (合格)]、[Refer (要検査)]、[Noisy (雑音)]、[No Seal or Fit Err (密閉不良またはフィッティングエラー)] のいずれかのメッセージが表示されます。

4. [Noisy (雑音)] または [No Seal or Fit Err (密閉不良またはフィッティングエラー)] メッセージが表示された場合は、プローブの位置を再調整してからもう一度検査を行います。
5. 検査結果を確認するには、反対の耳を検査する前に**下**コントロールパネルボタンを押します。結果を確認しないと、印刷するかデータマネージャに転送するまで結果を見ることができません。
6. 次のスクリーニング検査に進むには、プローブを反対の耳に挿入します。**左**または**右**コントロールパネルボタンを押して反対の耳を検査します。

検査結果の印刷

スクリーナーから印刷するには、オプションのワイヤレス対応感熱式プリンターが必要です。Welch Allyn OAE スクリーナー取扱説明書を参照してください。

1. スクリーナーがプリンターとペアリングされていることを確認します。
2. プリンターの電源が入っていて、印刷可能な状態になっていることを確認します。
3. メインメニューで、**上**コントロールパネルボタンを押します。[Connection (接続)] 画面が表示されます。
4. **左**または**右**コントロールパネルボタンを押してプリンターに接続します。保存されている全結果が印刷されます。

ボタンとメニュー

ナビゲーションボタン

下ボタン

- 1 回押す：電源が入ります
- 1 回押す：[Protocol (プロトコル)] メニューが開きます
- 押すと [Date (日付)] メニューに移ります。長押しすると端末設定メニューが開きます

右ボタン

- メインメニュー：右耳の検査を開始します
- すべてのメニュー：選択したメニューのオプションが順に表示されます

左ボタン

- メインメニュー：左耳の検査を開始します
- すべてのメニュー：選択したメニューのオプションが順に表示されます

上ボタン

- 1 回押す：メニュー構造のひとつ上に戻ります
- 1 回押す：メインメニューで、検査完了時に [Print (印刷)] メニューに移動します。

メニュー構造

1. 起動時画面：スクリーナーのソフトウェアとファームウェアのバージョンが表示されます。
2. メインメニュー：選択した検査プロトコルと、検査する耳に対応して [L (左)] または [R (右)] が表示されます。保存したプロトコルに進んで選択することができます。
3. [Date/Time (日時)] メニュー：日時が表示され、左右のコントロールパネルボタンを使って変更できます。
4. [System (システム)] メニュー：端末操作設定が表示され、左右のコントロールパネルボタンを使って変更できます。
5. [Protocol (プロトコル)] メニュー：プロトコル設定が表示され、左右のコントロールパネルボタンを使って変更できます。設定変更はスクリーナー上で可能です。

Welch Allyn テクニカルサポート

www.welchallyn.com/about/company/locations.html

39511-4 GSI 8108699

© 2022, Welch Allyn, Inc.

DIR No. 80022368 Ver.C、改訂日：2022年6月

